

御議論いただきたい論点

令和4年6月
経済産業省
産業技術環境局

御議論いただきたい論点①（産業技術政策）

- 研究開発型スタートアップ支援の抜本的強化
 - スタートアップ支援については技術シーズを活用する研究開発型スタートアップがポテンシャルがある分野であり、政策リソースを注力すべき領域として位置づけている。
 - これを支援するためNEDOの取組を強化していくことが必要である。例えば、NEDOによるハンズオン支援や事業化に向けた助成、人材育成・確保、コミュニティ形成、大学等の技術シーズと外部経営人材のマッチング等の取組を抜本的に強化していく必要があると考えるが、いかがか。
- 官と民が連携して研究開発投資にさらに一步踏み出すための取組について
 - イノベーションの創出を加速する研究開発事業の在り方や、更なる価値向上を目指すための産総研の在り方については、産業技術環境分科会 研究開発・イノベーション小委員会 研究開発改革WGの「最終取りまとめ」を踏まえ取組を進めていく。
 - 今後は、国の研究開発事業の在り方にとどまらず、民間における研究開発投資の促進や投資効率の向上のための、施策を議論すべきと考えるが、課題やアプローチについて御意見賜りたい。

御議論いただきたい論点②（基準政策）

- 研究開発事業の確実な社会実装に向けた、標準化戦略のフォローアップ等の仕組みの導入
 - まずは、しっかりとしたフォローアップ体制が構築されている、「グリーンイノベーション基金事業」、「ポスト5G基金事業」について、標準化の取組状況についても確認する仕組みを構築する。
 - 併せて、研究開発プロジェクト一般における、標準化活動の取組状況のフォローアップの在り方を検討するにあたり、取組に際しての留意事項にはどのようなものがあるか。
- 企業におけるルール形成の体制整備について
 - 国際市場の獲得や技術の社会実装を推進するために、ルール形成に向けた取組を、企業が加速することが必要ではないか。
 - そうした取組に積極的な企業が、投資家などのステークホルダーから、ポジティブに評価される仕組みを構築し、企業行動を変えていく必要があると考えるが、いかがか。
- 標準化の人材育成について
 - これまでの規格開発の人材育成の国際連携に加え、標準化に関する戦略を構築する人材についても、育成事業を構築する。
 - 今後、若年人材に標準化を経験させ、人材層を厚くするためには具体的にどのようなアプローチがあるか。産総研やNITEなど、関係機関の役割は何か。

御議論いただきたい論点③（環境政策）

● 成長志向型の資源自律経済の確立

- 資源自律経済の確立に向けて取り組むことの意義については、概念としては理解し得るものであるが、それだけではシビアな判断が求められる民間企業の活動下において取り組む動機としては不十分。具体的な素材・製品に関する資源循環の全体像を整理しながら、資源循環の経済的・環境的効果について定量的に示すなど、国が一步前に出て、ビジョンを示しつつ具体的な戦略に落とし込むことで、企業の積極的な取組へとつなげていくべきではないか。
- 我が国経済の強靱化・自律化に向けて、国内市場を確立し、さらには海外市場を獲得していくためには、資源循環に係るルール整備が必要となるが、アジア等の新興国を巻き込み資源循環経済圏を積極的に作り出していくためには、どのようなアプローチを取るべきか。

● グリーンエネルギー戦略

- 社会実装までの道筋が遠い技術のイノベーションを牽引するためには、政府として政策的予見性を示すことで、企業のコミットを引き出すことが重要ではないか。
- 革新的技術の社会実装の加速化が進んでいないとすれば、その原因は何か。また、それに対してどのような取組が効果的か。
- アカデミアにおける研究の成果をイノベーションにつなげる観点から、アカデミアと企業等との連携はどのようにあるべきか。例えば、グリーンイノベーション基金において、アカデミアと企業等との連携等を行うに当たって、どのような取組が効果的か。